

表現者としての教師—教室身ぶりとユーモアの考察から

草薙 優加

(群馬大学 大学教育センター)

第2言語環境下と異なり、外国語環境下で英語を教える教師は教室でさまざまな困難に接することがある。例えば、その一つとして、教授中に学習者の注意を得て保持することや、学習動機を保持し向上させること等が挙げられる。このような環境下で教師ができることは何であろうか？ 英語教室で撮影されたビデオ記録を基にしたマイクロ分析による観察では、教師が教授トピックに関連する説明にユーモアを伴った身ぶりで表現すること、または、教師と学習者が協同で身ぶりユーモアを創出することがしばしば観察された。本発表では、このような教師や学習者がつくり出すユーモアのパフォーマンスをビデオで紹介し、マイクロ分析によって理解された、これらの身ぶり機能を報告する。そして、このような身ぶりユーモアに関する学習者のインタビュー・コメントも紹介し、ユーモアを介在する教師身ぶりパフォーマンスは、学習者の感情や英語学習にどのように影響するのか考察する。